

# 平成19年度 予算

# 総額 181億6,000万円

## ～ 一般会計 85億3,500万円 ～

平成19年度の一般会計、国民健康保険事業特別会計、老人保健特別会計、介護保険事業特別会計及び下水道事業特別会計の予算が、平成19年3月に開催された定例議会で可決されました。

その概要についてお知らせします。

平成19年度は、財政健全化計画の2年目として、計画の「具体的な施策」の達成を目指し予算編成を行いました。

歳入面では収入の柱となる町税のうち、固定資産税は依然として地価の下落が予測されるものの、個人町民税は税源移譲の完全実施や税制改正により増額が見込まれ、全体として3億を超える増収を見込んでいます。

その他の収入については、昨年度に引き続いて、国のまちづくり交付金を積極的に活用し歳入を確保するとともに、町債の借入れを抑制し、財政健全化にも配慮しています。

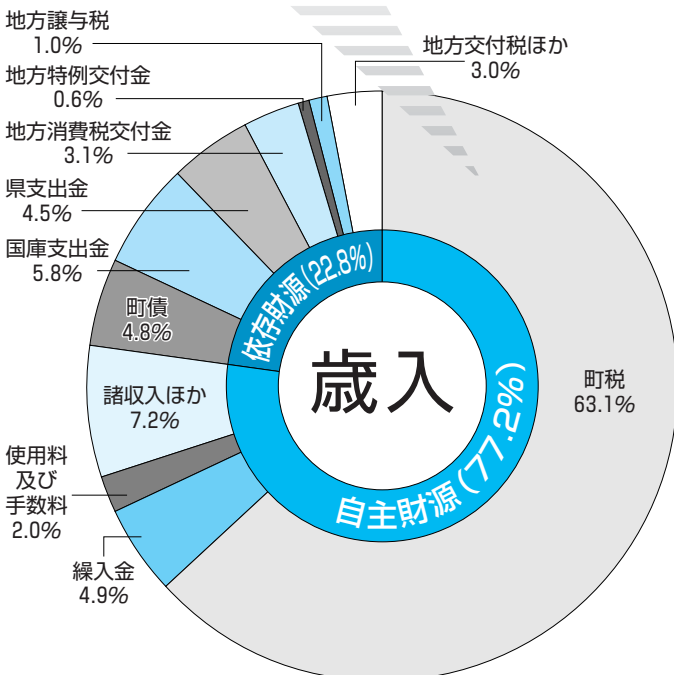
歳出面では、経常経費の抑制を図る一方、町の最重要課題である防災行政無線の整備、大磯中学校体育館の耐震改修及び高規格救急自動車の更新などの各種防災対策や、児童手当支給対象の拡充や幼稚園預かり保育の実施などの少子高齢化対策などに重点を置いた予算編成を行いました。

その結果、一般会計当初予算額は85億3,500万円となり、前年度当初予算額と比較すると8億4,700万円、比率で11.0%伸びており、積極型予算となっています。

特別会計の予算については、国民健康保険事業特別会計は33億2,400万円、老人保健特別会計は29億5,100万円、介護保険事業特別会計は19億4,400万円、下水道事業特別会計は14億600万円、一般会計に40億000万円を加えた予算総額は181億6,000万円となっています。

### 町税の内訳

町民税(個人)	26億 815万円
町民税(法人)	1億5,989万円
固定資産税	24億5,300万円
軽自動車税	3,027万円
町たばこ税	1億2,713万円
入湯税ほか	443万円



\*構成比は端数処理の結果、計が符合しない場合があります。

### 会計別予算額

会計名	予算額	前年度比
一般会計	85億3,500万円	11.0% 増
国民健康保険事業特別会計	33億2,400万円	13.1% 増
老人保健特別会計	29億5,100万円	0.6% 増
介護保険事業特別会計	19億4,400万円	7.9% 増
下水道事業特別会計	14億 600万円	8.3% 増
合計	181億6,000万円	9.0% 増

### 自主財源 (自主的に歳入することができる財源)

町税 (53億8,287万円) …町に納められた税金  
 線入金 (4億2,034万円) …基金(町の貯金)から引き出したお金  
 使用料及び手数料 (1億6,984万円)  
 諸収入ほか (6億1,767万円)

### 依存財源 (国や県などから交付される財源)

町債 (4億740万円) …町の借金  
 国庫支出金 (4億9,685万円) …国から交付される補助金など  
 県支出金 (3億8,821万円) …県から交付される補助金など  
 地方消費税交付金 (2億6,400万円)  
 …消費税から一定の割合で交付されるお金  
 地方特例交付金 (5,000万円)  
 …児童手当支給対象年齢の引上げや支給額の拡充に伴う財源の補てんとして国から交付されるお金  
 地方譲与税 (8,600万円)  
 …国税として課税した地方税を市町村などに配分するお金  
 地方交付税ほか (2億5,182万円)